

# 令和8年産 紀南の梅産地情報

2026/03/06

1. 今年産の梅の開花は、主力の南高の開花始めは1月30日と平年と比べ早くなったが、その後の寒波により満開期は2月13日からと平年並みとなった。また、授粉樹でもある小梅との開花はほぼ揃った。



開花始めの天候は不安定な状況となったが、満開期以降の気温は高く天候が安定したことから、本年産の作柄に期待している。

## ■紀南地域本部の梅の開花状況（平地標準調査地＝和歌山県田辺市中三栖）

品種 / 年		平年(H28~R7)	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
小梅	開花始め	2/8	2/10	1/19	2/25	1/29
	満開期	2/16	2/15	1/29	2/28	2/12
	開花終期	3/1	3/1	2/19	3/12	2/23
	開花期間	22日	20日	32日	16日	26日
古城	開花始め	2/17	2/17	2/7	3/1	2/15
	満開期	2/24	2/24	2/16	3/5	2/23
	開花終期	3/8	3/12	2/27	3/18	3/4
	開花期間	21日	24日	21日	18日	18日
南高	開花始め	2/7	2/11	1/20	2/27	1/30
	満開期	2/15	2/16	1/30	3/2	2/13
	開花終期	2/28	3/1	2/19	3/12	2/23
	開花期間	21日	19日	31日	14日	25日
作柄			開花期間短く 気象変動大 5月低温、6月 少雨肥大鈍る 平年作	早期開花・開 花期間長く 気象変動大 3月低温・降雹 凶作	開花期間が短 く気象変動大 1~3月低温 4月広範囲で 数回の降雹 不作	

2. 1月22日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、小梅は前年・平年並み、古城は前年・平年並み、南高は前年・平年共にやや少ない。

## ■基準園の着蕾数（1年枝100節当たりの平均着蕾数）

品種 / 年	令和8年	令和7年	令和6年	前年比	平年比
小梅	86.3	90.6	83.3	95%	95%
古城	90.8	94.3	77.8	96%	101%
南高	47.4	58.2	51.2	81%	82%

3. 作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時で具体的な予測はできない。4月・5月には作柄を把握するため着果数、果実肥大調査を実施する。